

石関先生の米寿を祝って

昭和45年卒 中村 信夫



本校の同窓会は昭和十二年四月に府立八高女夜学校同窓会として発足しましたが、戦時下に一時中断し、昭和二十五年に都立三田高校定時制同窓会として戦後第一回総会が開催されました。昭和五十二年六月校舎改築による落成記念式典が挙行されました。これを機に会則改正、同窓会の名称を「青葉会」とし、現在の形の同窓会が発足し、初代会長に故人とられました富川会長が就任、五十三年十二月に機関紙「ともかき」復刊第一号が発行されました。五十四年十月母校創立五十周年記念式典、祝賀会が盛大に開催され、会員名簿も発刊されました。

この周年行事を機に、五十五年三月から石田会長が就任し、十年間、皆様もご存知のとおり同窓会の発展、活性化に大活躍されました。平成元年の六十周年行事を終え、平成二年から五百川会長が十一年間、平成十三年から現在の若月会長と



なり今日に至っております。石関先生におかれましては、五十二年の富川会長の誕生に向け大変なご尽力をいただき、石田会長へのパトントンタッチについても同様のお力添えをいただきました。先生は、現在の同窓会の「生みの親」といっても過言ではありません。その後も顧問として幹事会にも出席、同窓会の運営にご支援をいただきました。最近お姿が見えないので連絡をとりましたところ、「米寿」とのこと、歴代会長、顧問の若林先生、現在の役員の河野、須藤、中村で先生のご自宅近くのファミリーストーンで七月九日、祝賀会を開催することとなりました。二十六年振りでお会いした先生は、お年をゆめした感じがしましたが、昔の面影もあり学園当時の

色々な事が頭の中に蘇って来て感無量でした。生徒会クラブ活動給食の事等々、途中から奥様も同席され、話は弾み、あつという間に三時間が経過しました。その後、先生のご自宅を伺って二次会、日分達の故郷の話し等思い出話は尽きず楽しいひと時を過ごしました。先生にはこれからも長生きして頂き、楽しい人生を過ごして頂ける事を念じてお別れしました。

北原先生をお招きして

昭和29年卒 竹内 務



昭和二十九年入学の当時は、国全体が貧しく現在とは比較にならないほどだったが、厚間の仕事を終え、夕方学校の教室に入るとなぜかほっとした。先生方の熱心なご指導・コッパンの給食・球技大会・夜行日帰りの遠足・修学旅行・クラスで行った夏のキャンプなど、どれも懐かしい思い出である。



その後の私たちの人生に強く影響しているように思える。健康状態が不

充分で参加できない友もいて残念だが、三田で学んだことを大切にして生きていきたい。

